

No. _____

年 月 日

「交通工学論文集」査読報告書 * : 事務局記入欄

査読者氏名	印	査読	・	再査読	*
(再) 査読依頼日	年 月 日 *	査読期限		年 月 日 *	
投稿区分・分野	1. 論文 [1] 基礎・応用学術研究 2] 事例・調査報告研究など] 2. 討議				*
題 目					*
著 者 名					*

掲載の可否原案 (次の (i)~(iv) いずれかに○印をつける)

可	(i) このまま掲載してよい
	(ii) 指摘した事項について著者が適切に修正等対処すれば掲載してよい(再査読不要)
※再査読は原則として1回のみ	
	(iii) 指摘した事項についての疑義及び修正事項があり、修正後再査読すべきである
否	(iv) 掲載は適当でない

否の理由 (a) ~ v) の該当項目に○印をつけてください)

<p>A. 誤り</p> <p>a) 理論または考えのプロセスに客観的・本質的な誤りがある</p> <p>b) 計算・データ整理に誤りがある [論拠とするデータ等の信頼性がない]</p> <p>c) 現象の解析にあたり、明らかに不相応な理論を当てはめて論文が構成されている [論旨の明確性, 論証の適切性がない]</p> <p>d) 都合の良いデータ・文献のみを利用して議論が進められ、明らかに公正でない記述により論文が構成されている</p> <p>e) 修正を要する根本的な指摘事項をあまりにも多く含んでいる</p> <p>B. 既発表</p> <p>f) 明らかに既発表とみなされる</p> <p>g) 連載形式で論文が構成されており、独立した「論文」と認めがたい</p> <p>h) 他人の研究・技術成果をあたかも本人の成果のごとく記述して原稿の基本が構成されている</p> <p>C. レベルが低い</p> <p>i) 通説が述べられているだけで新しい知見がまったくない</p> <p>j) 多少の有用な資料は含んでいても、「論文」にするほどの価値はまったく見られない</p>	<p>k) 論文にするには、明らかに研究・技術的検討などがある段階まで進展していない</p> <p>l) 着想が悪く、当然の結果しか得られていない</p> <p>m) 研究・技術内容が単に他の分野で行われている方法の模倣で、まったく意義を持たない</p> <p>n) 「論文」の構成、表現(用語、引用、図表等)が適切でない</p> <p>D. 内容全体・方針</p> <p>o) 政策的な意図、あるいは宣伝の意図がきわめて強い</p> <p>p) きわめて偏った先入観にとらわれ原稿全体が独断的に記述されている</p> <p>q) 理論的または実証的、あるいは事実に基づいた「論文」でなく、単なる主観が述べられているに過ぎない</p> <p>r) 私的な興味による色彩が極めて強く、交通工学に「論文」として掲載するには問題が多い</p> <p>s) 交通工学研究会としての本来の方針・目的と一致する点がまったく見られない</p> <p>t) 問題意識、問題設定が不明確、または不適切である</p> <p>u) 基本的用語の概念、分析の枠組みが不明確、または不適切である</p> <p>v) その他 [_____]</p>
---	---

評価 (必ず評点の該当する数字に○印をおつけ下さい)

1. 新規性 評点 (4. あり 3. ややあり 2. さほどなし 1. なし)

評点が4, 3の場合, 該当する項目に○印をおつけ下さい

- a) 研究の主題, 内容, 手法に独創性がある
- b) 学界, 社会に重要な問題を提起している
- c) 現象の解明に大きく貢献している
- d) 創意工夫に満ちた実験, 調査, 計画, 設計, 運用, 管理, 制御などについて貴重な技術的検討, 経験が報告されている
- e) 困難な研究・調査・実験などをなしとげた貴重な成果が盛られている
- f) 速報性が重視される内容で時宜を得ている [分野2]
- g) 報告されている実験, 調査, 施策, 試行などが全く新しいものである [分野2]
- h) 調査報告, 事例報告などであっても, その結果から新しい知見が得られている [分野2]
- i) その他 (所見欄に具体的にお書きください)

所見 (評点が2, 1の場合は必ずお書きください)

2. 有用性 評点 (4. あり 3. ややあり 2. さほどなし 1. なし)

評点が4, 3の場合, 該当する項目に○印をおつけ下さい

- a) 主題, 内容が時宜を得て有用である
- b) 研究・技術の成果の応用性, 有用性, 発展性が大きい
- c) 研究・技術の成果は有用な情報を与えている
- d) 交通工学分野での研究のすぐれた体系化をはかり, 将来の展望を与えている
- e) 研究成果は今後の研究や実務 (実験, 調査, 計画, 設計, 運用, 管理, 制御など) に取り入れる価値を持っている
- f) 問題の提起, 試論またはそれに対する意見として有用である
- g) 実験, 実測のデータで研究, 実務等の参考として有用である
- h) 新しい数表, 図表で応用に便利である
- i) 調査報告, 事例報告などであっても, その結果の一般化が可能である [分野2]
- j) その他 (所見欄に具体的にお書きください)

所見 (評点が2, 1の場合は必ずお書きください)

3. 完成度 評点 (4. あり 3. ややあり 2. さほどなし 1. なし)

評点が 4, 3 の場合, 該当する項目に○印をおつけ下さい

- a) 全体の構成が適切である
- b) 研究の目的と結果が明確である
- c) 既往の研究・技術との関連性は明確である
- d) 文章表現は適切である
- e) 図・表はわかり易く作られている
- f) 全体的に冗長になっていない
- g) 図・表などの数は適切である
- h) その他 (所見欄に具体的にお書きください)

所見 (評点が 2, 1 の場合は必ずお書きください)

4. 信頼度 評点 (4. あり 3. ややあり 2. さほどなし 1. なし)

評点が 4, 3 の場合, 該当する項目に○印をおつけ下さい

- a) 重要な文献が落ちなく引用され, 公平に評価されている
- b) 従来 of 技術や研究成果との比較や評価がなされ, 適正な結論が導かれている
- c) 実験や解析の条件が明確に記述されている
- d) その他 (所見欄に具体的にお書きください)

所見 (評点が 2, 1 の場合は必ずお書きください)

その他全般的な所見

判定理由 (必ずお書きください)

討議希望の有無 (第1 学術小委員会では活発な討議を希望しています)

1. 希望する
2. 委員会からの要請があれば投稿する
3. 無し